



ARK NEWS

2025年
(令和7年)

4月

[発行元：株式会社アーク人財紹介センター／発行責任者：石田和裕]

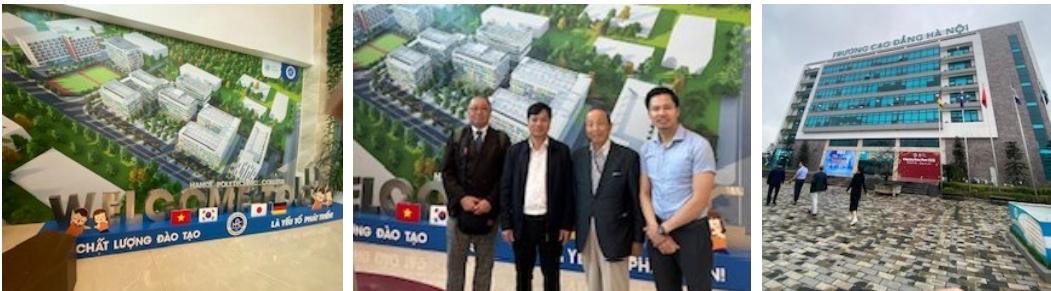
ベトナム出張レポート ②



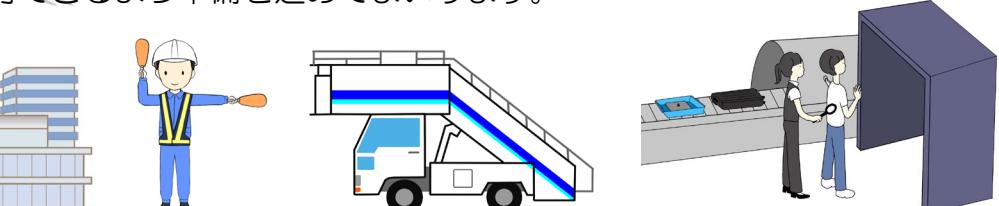
㈱アーク人財紹介センター
代表取締役 嶋崎八洲男

ベトナムハノイのPTM短期大学が順調に建設（増築工事）が順調に進んでおり、すでに出来上がっている校舎では授業が行われておりました。**警備学科**のスタートは増設校舎が竣工してからとなります。

日本における警備業界の外国人受入れは2026年度中に認可が下り、2027年から本格的に国内外で特定技能1号および2号の試験が始まり全国の警備会社に**人財を紹介する仕事が本格的にスタートします。**今後はベトナムのPTM社とタッグを組んでまいります。



もう一つは日本にある全国の空港で**グランドハンドリング**の人財が不足しているために、アーク人財紹介センターも早急に海外から優秀な人財を迎えるためにも教育が大切であり、PTMの短期大学で教育できるよう準備を進めてまいります。



ハノイの主要道路に面した土地200坪以上のビアホールを開業し、ビールを中心としたレストランと、カラオケ、マッサージ等を組み合わせた新しいビジネスが展開されることになり、アークも協力する事になりました。

レストラン（ビヤホール）、カラオケ、マッサージの3セットは珍しいビジネスです！



ニュービジネス



部署名

内 容

人手不足が著しい職業ランキングTOP20 2025年1月発表分

取締役 営業開発部長
石田 和裕

厚生労働省は、公共職業安定所（ハローワーク）に集められる求人や就職の状況を取りまとめて「一般職業紹介状況」として毎月公表しており、その中で「有効求人倍率」を記載しています。有効求人倍率とは、「有効求人数÷有効求人登録者数」で計算される、その職業の人気度のようなものです。今回は**保安職業従事者（自衛官、警察、警備員等）**が1位になりました！

順位	業 種	有効求人倍率
1	保安職業従事者	17.20
2	介護サービス職業従事者	8.38
3	建設・土木作業従事者	6.45
4	接客・給仕職業従事者	5.31
5	飲食物調理従事者	5.27
6	生活衛生サービス職業従事者	4.60
7	電気工事従事者	4.26
8	自動車運転従事者	3.77
9	定置・建設機械運転従事者	3.58
10	販売従事者	2.82

日本で働く外国人は初の200万人超え
「特定技能」の外国人労働者数は前年比7割増

日本で働く外国人は前年比12.4%増の204万8675人で、届け出が義務化された2007年以降過去最高を更新したことが、厚生労働省の「外国人雇用状況」の届出状況のとりまとめで分かった。（2023年10月外国人労働者数は204万8675人（前年182万2725人）。前年比で22万5950人増加し、対前年増加率は12.4%と、前年の5.5%から6.9ポイント上昇した。外国人労働者を雇用している事業所数は前年同期比6.7%増の31万8775カ所だった。

外国人労働者数を国籍別に見ると、ベトナムが最も多く51万8364人（外国人労働者数全体の25.3%）。次いで中国39万7918人（同19.4%）、フィリピン22万6846人（同11.1%）が続いた。

在留資格別にみると、「身分に基づく在留資格」が最も多く61万5934人で、外国人労働者数全体の30.1%を占める。次いで、「専門的・技術的分野の在留資格」が59万5904人（29.1%）、「技能実習」が41万2501人（20.1%）の順となっている。

「専門的・技術的分野の在留資格」のうち「特定技能」の外国人労働者数は13万8518人となり、前年比5万9464人（75.2%）増加した。

【出典：20240205日本人材ニュース】

その他情報



外国人採用を拡大する企業16.7%、飲食店、旅館・ホテルなどのサービス業で採用意欲が高い傾向

外国人の採用について尋ねたところ、企業の16.7%が外国人労働者の採用拡大を見込んでいることが、帝国データバンクの「外国人労働者の雇用・採用に対する企業の動向調査」で明らかとなった。

【業種別 外国人労働者の採用を「拡大」する企業 トップ5】

飲食店	44.0%
旅館・ホテル	35.8%
人材派遣・紹介	33.8%
医療・福祉・保健衛生	26.9%
自動車・同部品小売	25.8%

【出典：20240205日本人材ニュース】